

参考データ集

国際石油開発帝石株式会社

2012年(平成24年)11月7日

連結子会社および持分法適用関連会社

連結子会社 57社

主な連結子会社	国(地域)名	出資比率	ステージ	決算期
ジャパン石油開発	アラブ首長国連邦	100%	生産中	3月(仮決算)
ナトゥナ石油	インドネシア	100%	生産中	3月
サウル石油	チモール海・共同開発地域	100%	生産中	12月
INPEX Ichthys Pty Ltd	オーストラリア	100%	開発中	3月(仮決算)
インペックス南西カスピ海石油	アゼルバイジャン	51%	生産中	3月(仮決算)
インペックス北カスピ海石油	カザフスタン	45%	開発中	3月(仮決算)

持分法適用関連会社 14社

主な持分法適用関連会社	国(地域)名	出資比率	ステージ	決算期
MI Berau B.V.	インドネシア	44%	生産中	12月
アンゴラ石油	アンゴラ	19.6%	生産中	12月
インペックス北カンボス沖石油	ブラジル	37.5%	生産停止中	12月
Ichthys LNG Pty Ltd	オーストラリア	72.07%	開発中	3月(仮決算)

セグメント情報

2013年3月期第2四半期(2012年4月1日～2012年9月30日)

(単位:百万円)

	日本	アジア・オセアニア	ユーラシア (欧州・NIS諸国)	中東・アフリカ	米州	計	調整額 (注1)	連結財務諸表計上額(注2)
売上高	53,415	252,207	36,402	234,204	2,275	578,505	—	578,505
セグメント利益又は損失(△)	9,283	153,453	17,360	164,319	△1,537	342,879	△4,879	337,999

(注)1 セグメント利益の調整額△4,879百万円は、セグメント間取引消去113百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△4,992百万円が含まれております。全社費用の主なものは、報告セグメントに帰属しないのれんの償却及び一般管理部門にかかる費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2

LPG売上高

	12年3月期第2四半期 (2011年4月-9月)	13年3月期第2四半期 (2012年4月-9月)	増減	増減率
売上高(億円)	42	144	101	236.9%

販売量(千bbl)	530	2,154	1,624	306.3%
海外生産分平均単価(\$/bbl)	85.06	80.80	△4.26	△5.0%
国内生産分平均単価(¥/kg)	125	119	△6	△4.8%
平均為替(¥/\$)	81.89	79.40	2.49円円高	3.0%円高

地域別販売量(千bbl)	12年3月期第2四半期 (2011年4月-9月)	13年3月期第2四半期 (2012年4月-9月)	増減	増減率
日本	121 (12千ト)	131 (12千ト)	10 (1千ト)	8.0%
アジア・オセアニア	409	2,023	1,614	394.4%
ユーラシア(欧州・NIS諸国)	-	-	-	-
中東・アフリカ	-	-	-	-
米州	-	-	-	-
合計	530	2,154	1,624	306.3%

3

利払い・償却・探鉱費前利益(EBIDAX)

(百万円)	12年3月期第2四半期 (2011年4月-9月)	13年3月期第2四半期 (2012年4月-9月)	増減	備考
純利益	74,396	111,382	36,985	P/L
少数株主損益	8,634	4,152	△4,482	P/L
減価償却相当額	56,197	55,652	△545	
減価償却費	23,722	25,968	2,246	C/F コンセッション契約及び販管費に係る減価償却費
のれん償却額	3,380	3,380	0	C/F
生産物回収勘定(資本支出)の回収額	29,095	26,304	△2,791	C/F PS契約に係る減価償却費相当額
探鉱費相当額	20,525	9,580	△10,945	
探鉱費	10,535	4,090	△6,445	P/L コンセッション契約に係る探鉱費
生産物回収勘定引当金操入額	9,145	3,239	△5,906	P/L PS契約に係る探鉱費相当額
探鉱事業引当金操入額	845	2,251	1,405	P/L PS契約に係る探鉱費相当額
重要な非現金項目	△540	10,791	11,331	
法人税等調整額	4,083	12,031	7,948	P/L
為替差損益	△4,623	△1,240	3,383	C/F
税引後ネット支払利息	△973	△1,686	△713	P/L 税引後の支払利息一受取利息
EBIDAX	158,239	189,871	31,632	

4

生産物回収勘定の増減推移

(百万円)	13年3月期第2四半期 (2012年4月-9月)
生産物回収勘定(期首)	568,318
増加:	
探鉱投資	7,143
開発投資	61,196
操業費	25,472
その他	2,265
減少:	
コスト回収(CAPEX)	26,304
コスト回収(Non-CAPEX)	50,141
その他	26,678
生産物回収勘定(期末)	561,271
生産物回収勘定引当金	100,801

5

2013年3月期 販売量・投資額(予想)



2013年3月期予想		5月11日時点	11月6日時点	増減	【参考】 第2四半期累計実績
販売量	原油 (千バレル) ¹	85,914	84,281	△1,633	42,120
	天然ガス (百万cf) ²	323,535	311,181	△12,354	153,562
	うち海外分	256,571	246,016	△10,555	124,466
	うち国内分	66,964 (1,794百万m ³)	65,165 (1,746百万m ³)	△1,799 (△48百万m ³)	29,096 (780百万m ³)
	LPG (千バレル) ³	3,311	3,716	405	2,154

開発投資額 ⁴ (億円)	6,400	5,810	△590 ⁷	2,146
その他設備投資額 (億円)	310	330	20	81
探鉱投資額 (億円)	630	500	△130 ⁷	118
探鉱費および 探鉱関連引当額 ⁵ (億円)	探鉱費 334 探鉱関連引当額 255 589	探鉱費 195 探鉱関連引当額 272 467	△122	探鉱費 40 探鉱関連引当額 54 95
うち少数持分負担額 ⁶ (億円)	281	165	△116	27

注) 1 国内原油および石油製品販売量の換算係数として1kl=6.29バレルを使用

2 国内天然ガス販売量の換算係数として1m³=37.32cfを使用

3 国内LPG販売量の換算係数として1トン=10.5バレルを使用

4 開発投資額にはイクシス下流事業を含む

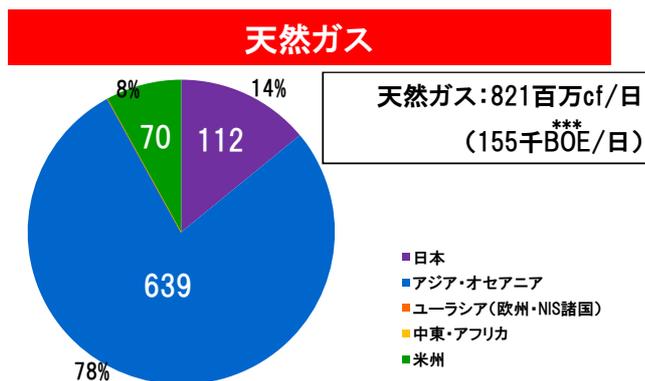
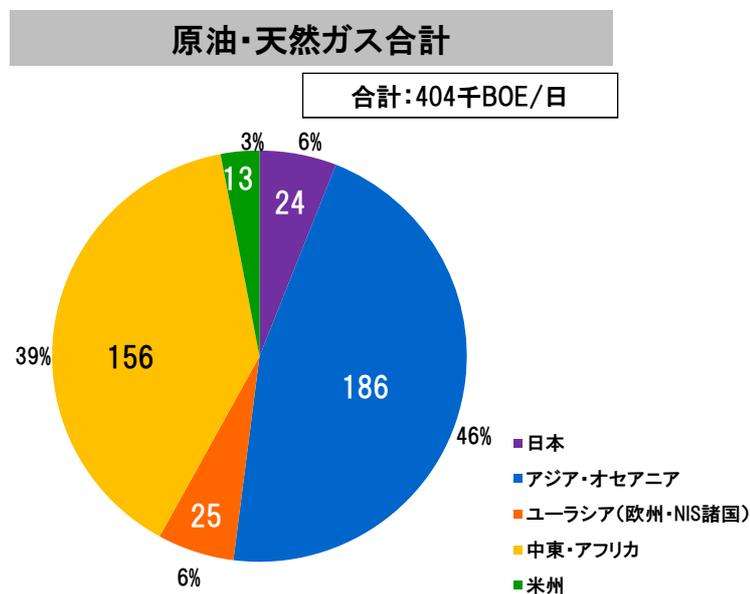
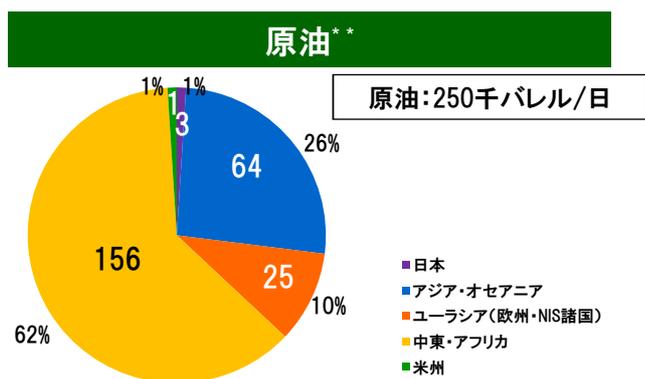
5 損益計算書の生産物回収勘定引当金繰入額+探鉱事業引当金繰入額

6 少数株主による増資見合い分等

7 新規取得案件にかかる会計上の取扱いの変更による減

6

生産量*(2012年4月-9月)



* 当社グループが締結している生産分与契約にかかる当社グループの原油及び天然ガスの生産量は、正味経済的取分に相当する数値を示しています。

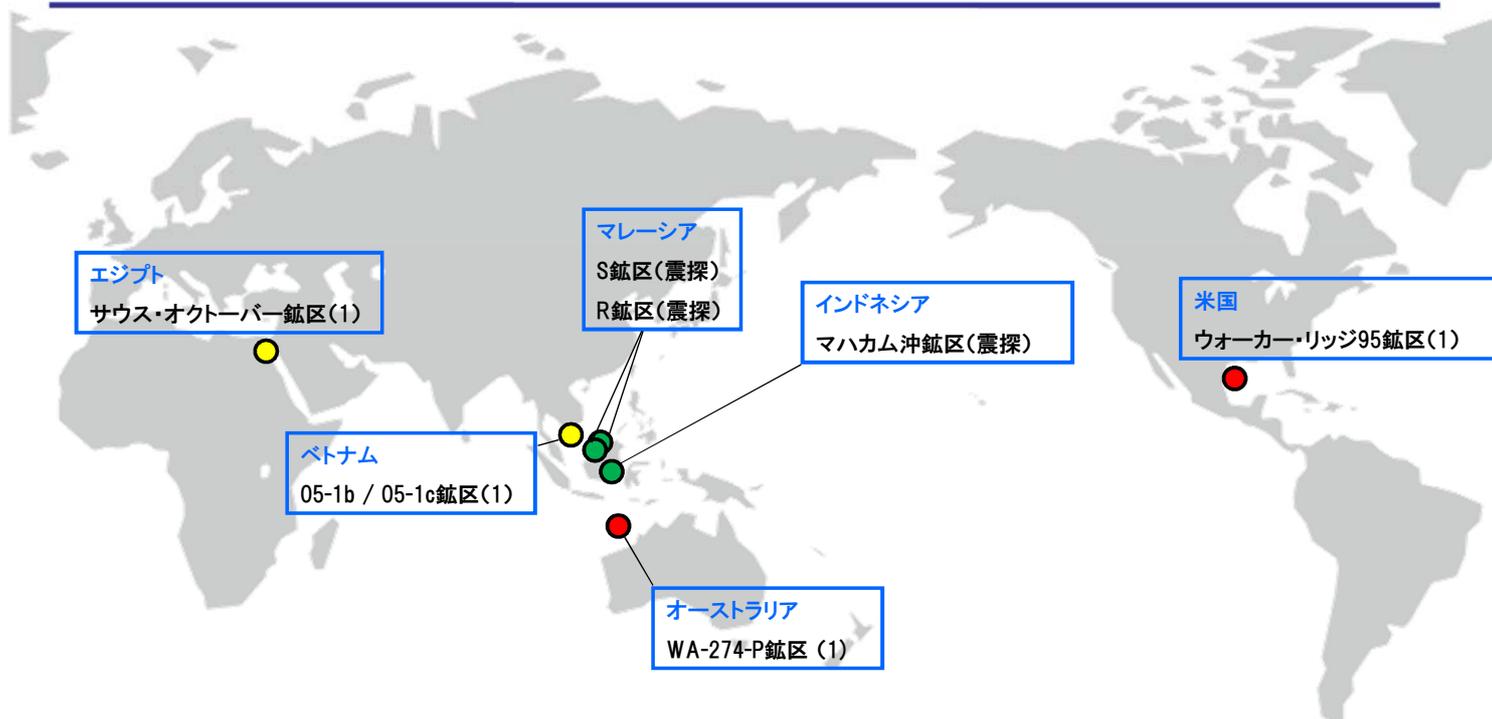
** 原油には、コンデンサート及びLPGを含みます。

*** 2012年3月期より天然ガスから原油への換算方法を変更しております。

7

プロジェクト参考データ

探鉱実績(9月末時点)*

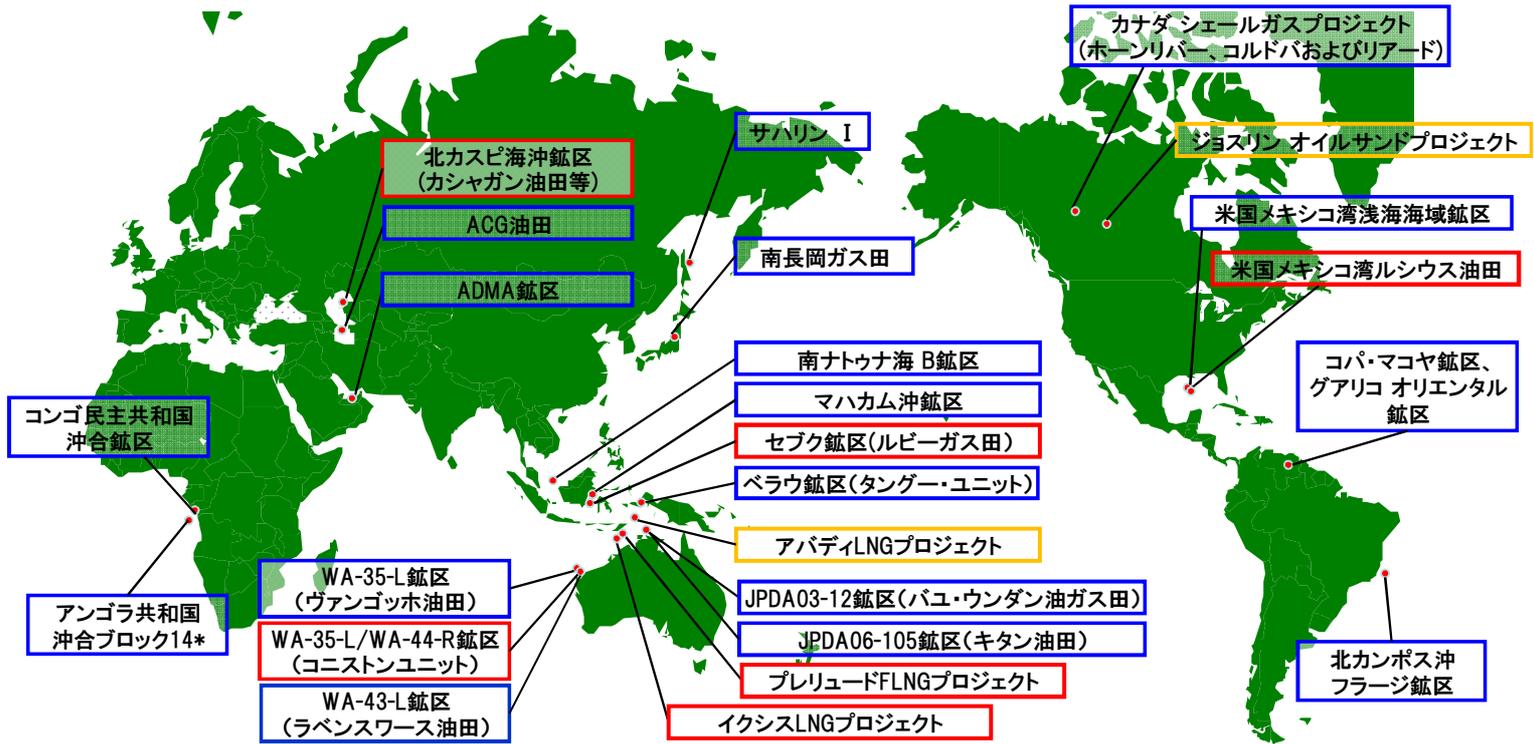


* ()内の数字は掘削坑井数

- 試掘井
- 探掘井
- 震探

	探鉱投資額 (億円)	試掘井 (坑)	探掘井 (坑)	2D震探 (km)	3D震探 (km ²)
2013年3月期(計画)	500	5	7	0	8,039
うち作業中・作業済	118	2	2	0	2,539

主な生産・開発プロジェクト



生産中
開発中
開発準備作業中

*アンゴラ政府の承認を含む契約上の先行条件充足次第、正式に契約発効予定

生産開始スケジュール(1/2)

生産開始	プロジェクト・油ガス田	国	オペレーター	ピーク生産量・生産キャパシティ	当社シェア*1
2012年度(2012年4月～2013年3月)	パワルガス田(南ナトゥナ海B鉱区) サウスマハカムガス田(マハカム沖鉱区)	インドネシア インドネシア	ConocoPhillips TOTAL	- *4 250MMscf/日	35% 50%
2013年度(2013年4月～2014年3月)	カシャガン油田(Phase1) コニストンユニット ルビーガス田(セブク鉱区) サウスブルットガス田(南ナトゥナ海B鉱区)	カザフスタン オーストラリア インドネシア インドネシア	NCOC Apache PEARLOIL ConocoPhillips	37万bbl/日 100MMscf/日 - *4	7.56% 47.499% 15% 35%
2014年度以降(2014年4月以降)	メキシコ湾ルシウス油田(原油) (天然ガス) ルカバ油田、マランゲ油田、リアンジ油田 シェールガスプロジェクト(ホーンリバー、コルドバ地域) イクシスLNGプロジェクト(LNG) (LPG) (コンデンセート) プレリユードFLNGプロジェクト(LNG) (LPG) (コンデンセート) アバディLNGプロジェクト(1)(LNG) (コンデンセート) ジョスリンオイルサンドプロジェクト(露天掘り)	米国 アンゴラ カナダ オーストラリア オーストラリア インドネシア カナダ	Anadarko Chevron Nexen 当社 Shell 当社 TOTAL	約8万bbl/日 約450MMscf/日 約10万bbl/d 約1,250MMscf/日 840万ト/年 約160万ト/年 約10万bbl/日 360万ト/年 約40万ト/年 約3.6万bbl/日 250万ト/年 8,400bbl/日 20万bbl/日	7.2% 9.99%*2 40% 66.07%*3 17.5% 60% 10%
既発見・生産開始未定	カイルン/アクトテ/カラムカス/カシャガンサウスウェスト構造 ウムレル、ナスル油田 シェールガスプロジェクト(リアード地域)	カザフスタン アラブ首長国連邦 カナダ	NCOC ADMA-OPCO Nexen	未定 - *4 未定	7.56% 12.0% 40%

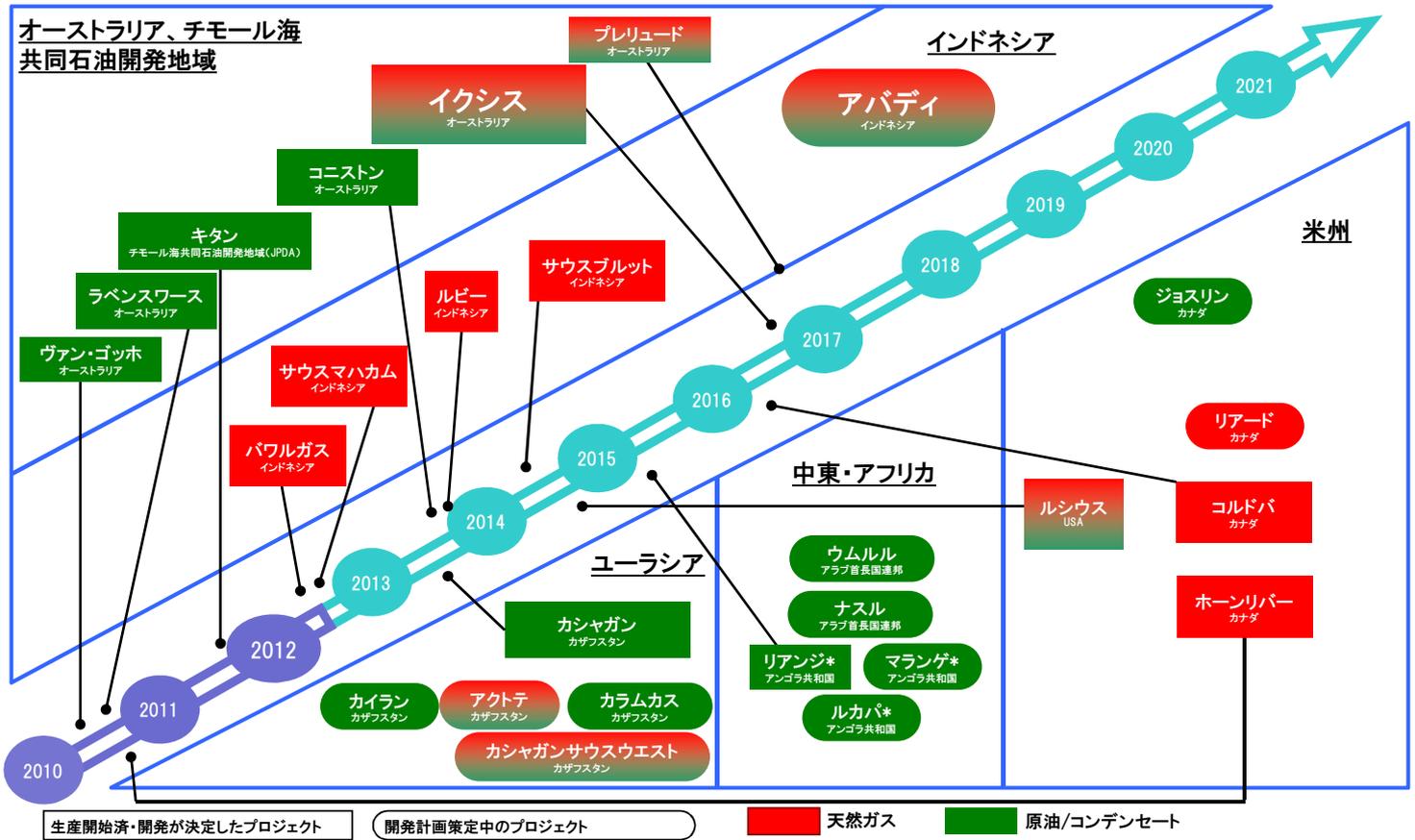
*1 当社シェアは、鉱区権益比率。ただし、持分法適用関連会社は、鉱区権益比率に当社出資比率を乗じたもの

*2 アンゴラ政府の承認を含む契約上の先行条件充足次第、正式に契約発効予定。また、リアンジ油田はアンゴラ・コンゴ両共和国間のユニタイズ鉱区内に位置し、当社シェアは表記の1/2

*3 当社イクシスLNGプロジェクト保有権益(プロジェクト全体の72.07%)のうち、追加権益(6%)の譲渡契約締結済みのTOTALへの譲渡について豪州政府当局承認を含む譲渡契約発効のための先行条件充足後の当社権益比率

*4 プロジェクトパートナー各社との守秘義務上、公開不可

生産開始スケジュール(2/2)



12 *アンゴラ政府の承認を含む権益譲渡契約上の先行条件の充足により譲渡契約発効予定。

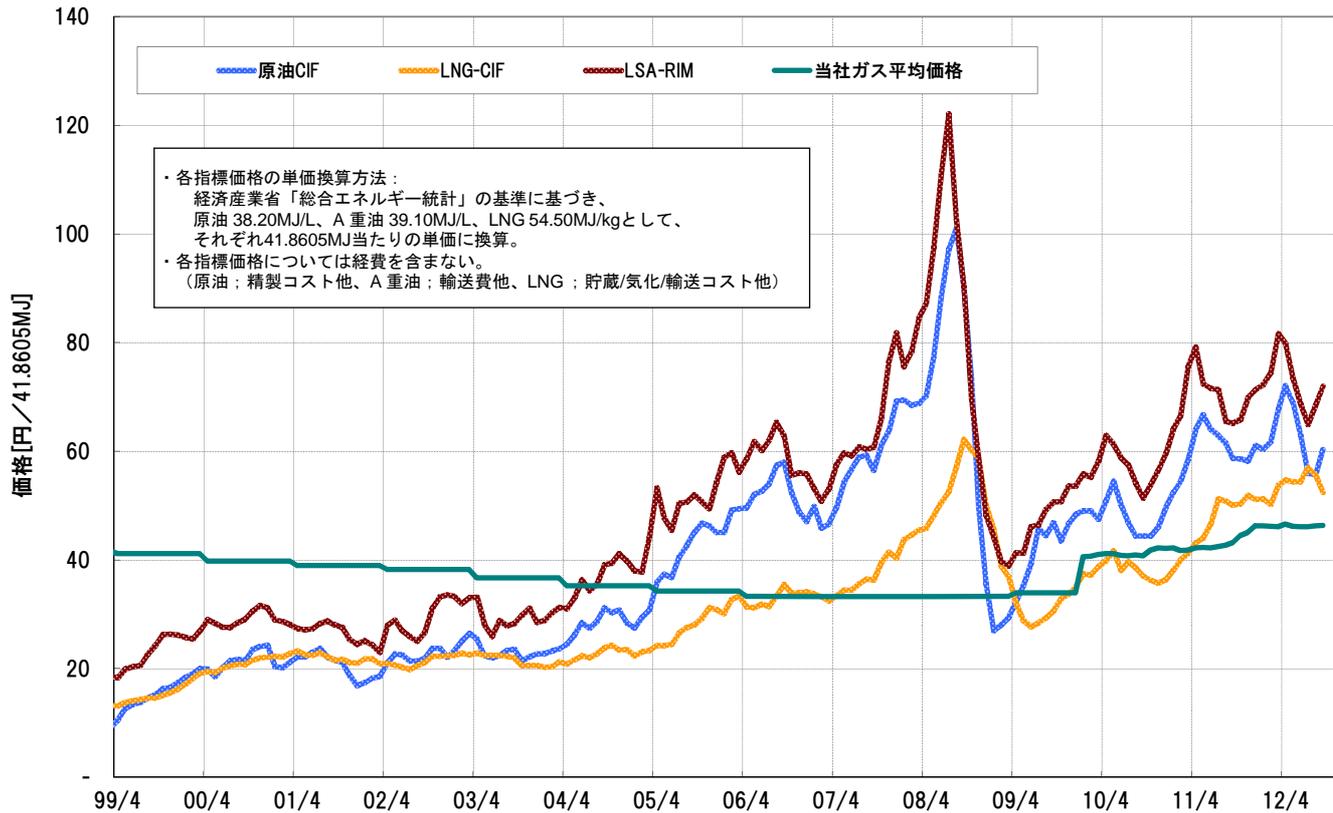
国内天然ガス事業



- 生産量*
 - ・天然ガス: 約3.4百万m³/日 (128百万cf/日)**
 - ・原油・コンデンセート: 約4千バレル/日
- 天然ガス販売状況
 - ・2012年3月期販売量: 17.6億m³**
 - ・2013年3月期販売量見通し: 17.5億m³**
 - ・2020年代前半に25億m³、長期的に年間30億m³の供給見通し
- ガスサプライチェーンの構築
 - ・2011年5月、富山ラインの建設を決定
 - ・直江津LNG受入基地の建設 (2014年操業開始予定)

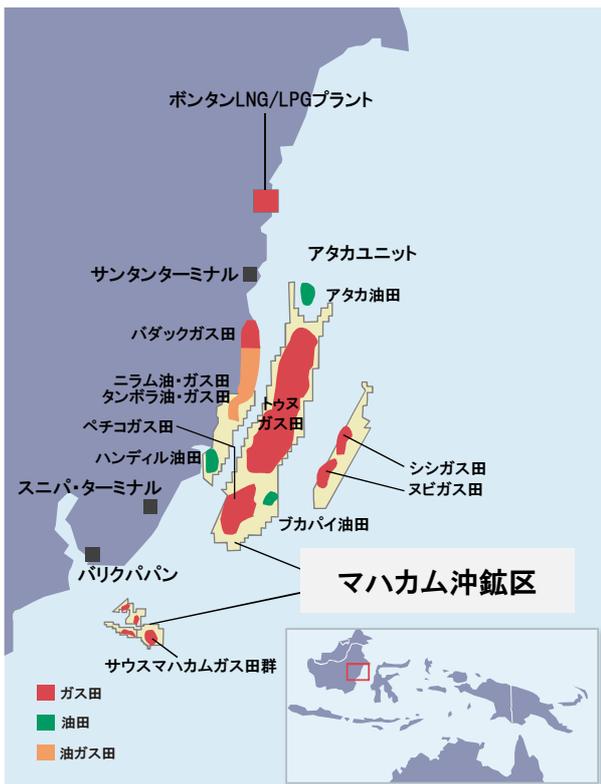
* 国内油田・ガス田の合計(2012年3月期平均日産量)
** 1m³当たり41,8605MJ換算

単位あたりの価格の比較



マハカム沖鉱区

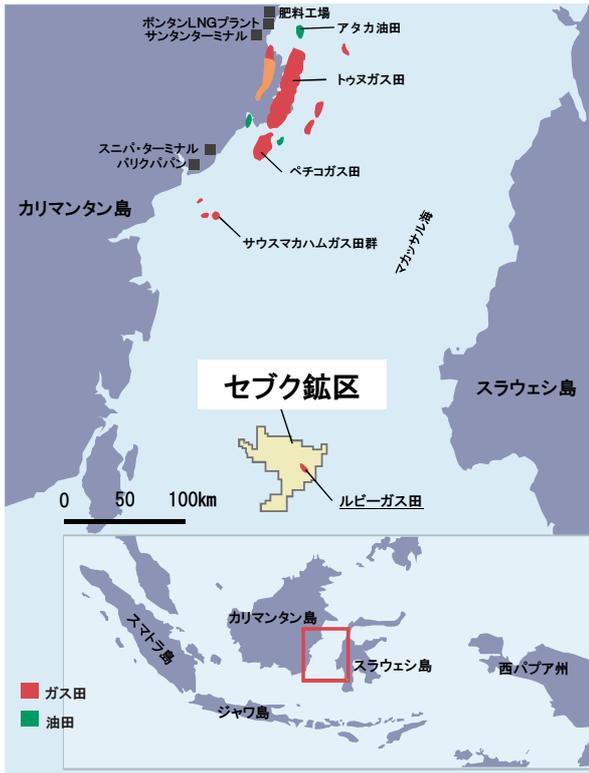
国際石油開発帝石



- 当社権益比率: 50%
(オペレーター: TOTAL)
- 生産量*
 - ・原油・コンデンセート: 日量約6.1万バレル
 - ・LPG: 日量約9千バレル
 - ・天然ガス: 日量約13.6億立方フィート
- PS契約: 2017年まで
- ボンタンLNG基地へのガス安定供給を目的として開発作業を継続
 - ・トウヌ/ペチコガス田の段階的開発
 - ・タンボラ油・ガス田の追加開発
 - ・シシ/ヌビ ガス田の開発
 - ・サウスマハカムガス田の開発作業実施
- 2012年4月、西ジャワ洋上LNG受入基地へ新規にLNG供給を開始。
- 2012年10月末、サウスマハカムガス田より生産開始。
- PS契約の更新に向けTOTALとともにインドネシア当局と交渉継続中

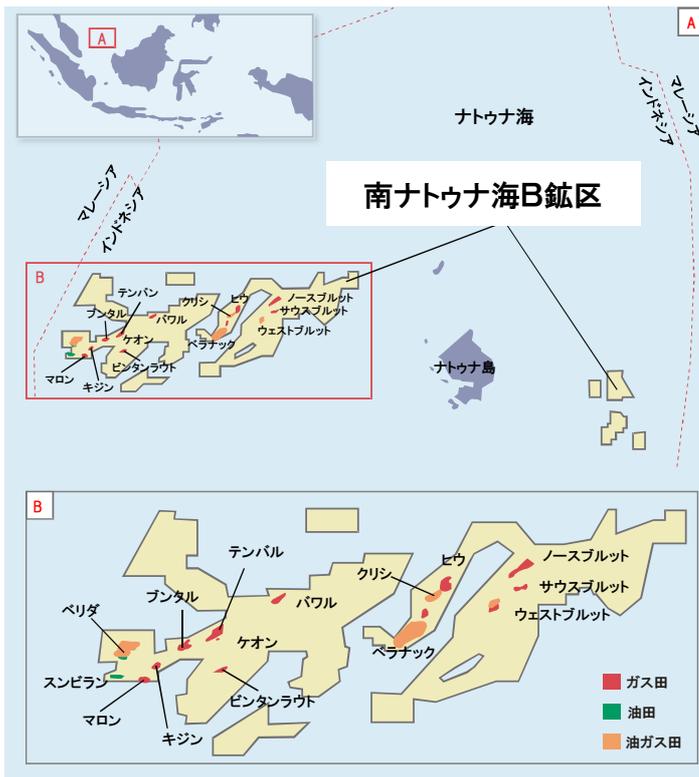
* 全鉱区ベース、2012年9月平均日産量

セブク鉱区(ルビーガス田) 南マカッサル石油



- 当社権益比率: 15%
(オペレーター: PEARLOIL (Mubadala))
- PS契約: 2027年まで
- 2008年7月、インドネシア政府よりルビーガス田の開発計画が承認
- 2010年8月、オペレーターであるPearl Energyと締結した権益譲渡契約のインドネシア政府承認を取得(当社15%権益取得)
- 2011年6月、開発移行決定
- 2013年第3四半期、生産開始予定
- 海上生産施設よりマハカム沖鉱区既存陸上施設へ海底パイプラインにより繋ぎ込みを予定
- 生産ガスの大部分をインドネシア国内肥料工場向けに供給予定

南ナトゥナ海B鉱区 ナトゥナ石油



- 当社権益比率: 35.0%
(オペレーター: ConocoPhillips)
- 生産量*:
 - ・ 原油・コンデンセート: 日量約4.0万バレル
 - ・ LPG: 日量約1.6万バレル
 - ・ 天然ガス: 日量約3.8億立方フィート
- PS契約: 2028年まで
- SembCorp社(シンガポール)と2001年より22年間、Petronas(マレーシア)と2002年より20年間の天然ガス販売契約締結
- 2012年7月、バワルガス田の生産開始
- 2014年第1四半期、サウスブルットガス田の生産開始予定

* 全鉱区ベース、2012年9月平均日産量

ベラウ鉱区(タンゲーLNGプロジェクト) MI Berau B.V./MIベラウジャパン

INPEX



-MI Berau/MIベラウジャパン*:
三菱商事とのJV(当社44%、三菱商事56%)

*MIベラウジャパンはケージーベラウ石油開発に約16.5%出資

-権益比率:

- ・MI Berau: タンゲー・ユニット 16.3%
- ・ケージーベラウ石油開発: タンゲー・ユニット 8.56%
(オペレーター:BP)

-生産量*

- ・コンデンセート: 日量約6千バレル
- ・天然ガス: 日量約9.4億立方フィート

-PS契約: 2035年まで

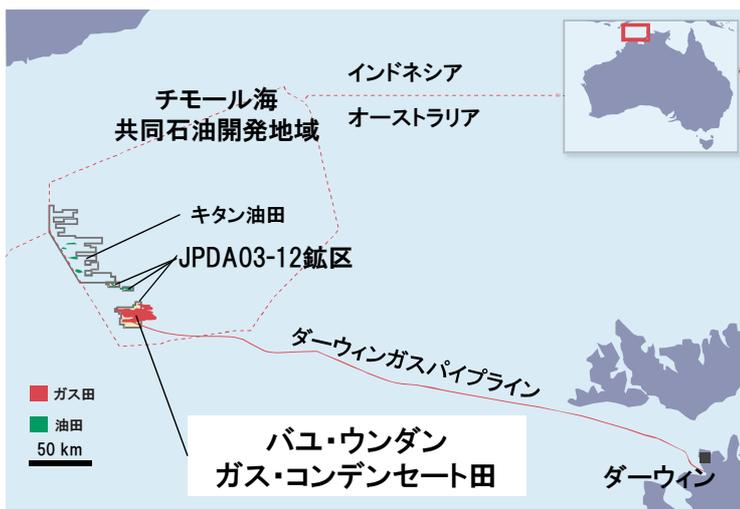
-生産計画: 年間760万トン

-2009年7月、LNG船第1船出荷

* 全鉱区ベース、2012年9月平均日産量

バユ・ウンダン ガス・コンデンセート田(JPDA03-12鉱区) サウル石油

INPEX



- 当社権益比率: 11.378120%
(オペレーター: ConocoPhillips)

- 生産量*

- ・コンデンセート: 日量約5.3万バレル
- ・LPG: 日量約3.2万バレル
- ・天然ガス: 日量約5.7億立方フィート

- PS契約: 2022年まで

- 2004年2月にコンデンセート/LPG販売開始

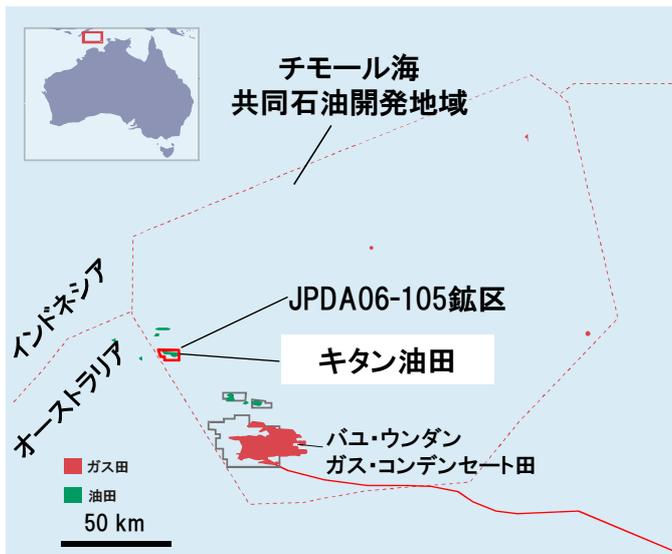
- 2005年8月、東京電力/東京ガスとLNG販売契約締結(2006年から17年間、年間300万トン)、2006年2月、LNG販売開始

* 全鉱区ベース、2012年9月平均日産量

キタン油田(JPDA06-105鉱区)

インペックスチモールシー

INPEX



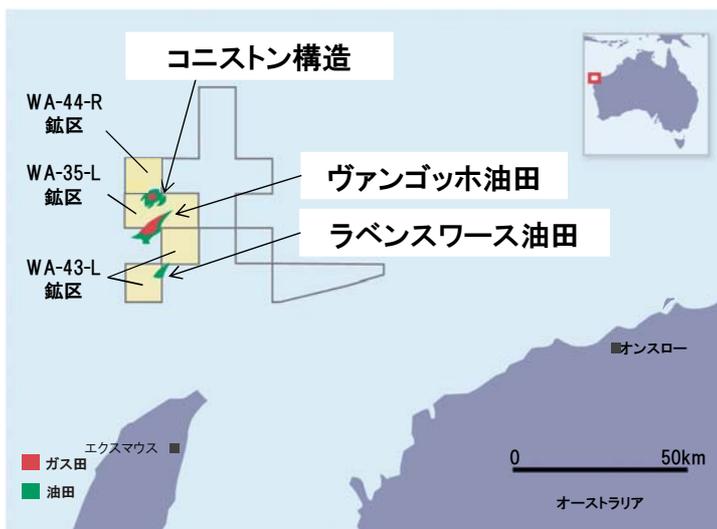
- 当社権益比率: 35%
(オペレーター: Eni)
- PS契約: 2035年4月まで(キタン油田)
- 2008年4月、キタン油田商業発見宣言
- 2010年4月、キタン油田の最終開発計画に対し共同管轄当局の承認取得
- 2011年10月、生産開始
- 生産量*: 原油: 日量約3.5万バレル

* 2012年9月平均日産量

20

ヴァンゴッホ油田、コニストンユニット及びラベンスワース油田 アルファ石油

INPEX



ヴァンゴッホ油田/コニストンユニット(WA-35-LおよびWA-44-R鉱区)

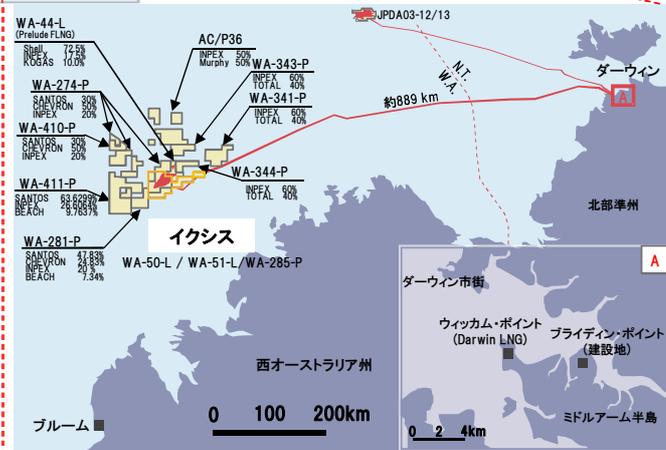
- 当社権益比率: 47.499% (オペレーター: Apache)
- 利権契約(2008年10月生産ライセンス取得)
- ヴァンゴッホ油田: 2010年2月原油生産開始、生産量*: 原油: 日量約1.6万バレル
- コニストンユニット: 2013年第4四半期原油生産開始予定、当初1年間の平均日産量: 原油: 日量21,500バレルを予定

ラベンスワース油田(WA-43-L鉱区)

- 当社権益比率: 28.5%
(オペレーター: BHPBP)
- 利権契約(2009年11月生産ライセンス取得)
- 2007年11月開発移行決定
- 隣接するWA-42-L鉱区での生産施設への繋ぎ込みによる開発
- 2010年8月生産開始
- 生産量*: 原油: 日量約1.7万バレル

* 全鉱区ベース、2012年9月平均日産量

21



- 2012年1月13日、最終投資決定(FID)を発表
- 2016年末までに生産開始予定
- 生産量: LNG 年間840万吨(日本のLNG年間輸入量の1割強)、LPG 年間約160万吨、コンデンセート 日量約10万バレル(ピーク時)
- 埋蔵量: プロジェクトライフ40年。年間840万吨のLNGを約20年の長期にわたり生産可能(以降緩やかに減少)。豊富なLPG、コンデンセート有。今年3月末日時点の埋蔵量評価において、推定埋蔵量のうち約11.8億BOE*を確認埋蔵量へ格上げ。
- 権益比率** : 当社66.07%**、TOTAL30.0%、東京ガス1.575%、大阪ガス1.200%、東邦ガス0.420%、中部電力0.735%

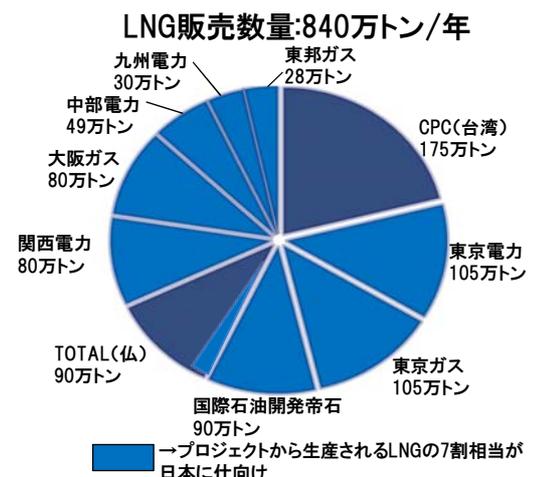
* 当社権益比率76%ベース(上記、権益比率に記載のガス3社、中部電力、TOTALに対する追加権益譲渡前の権益比率)

**当社からTOTALへの6%追加権益譲渡は豪州政府当局による承認手続き中

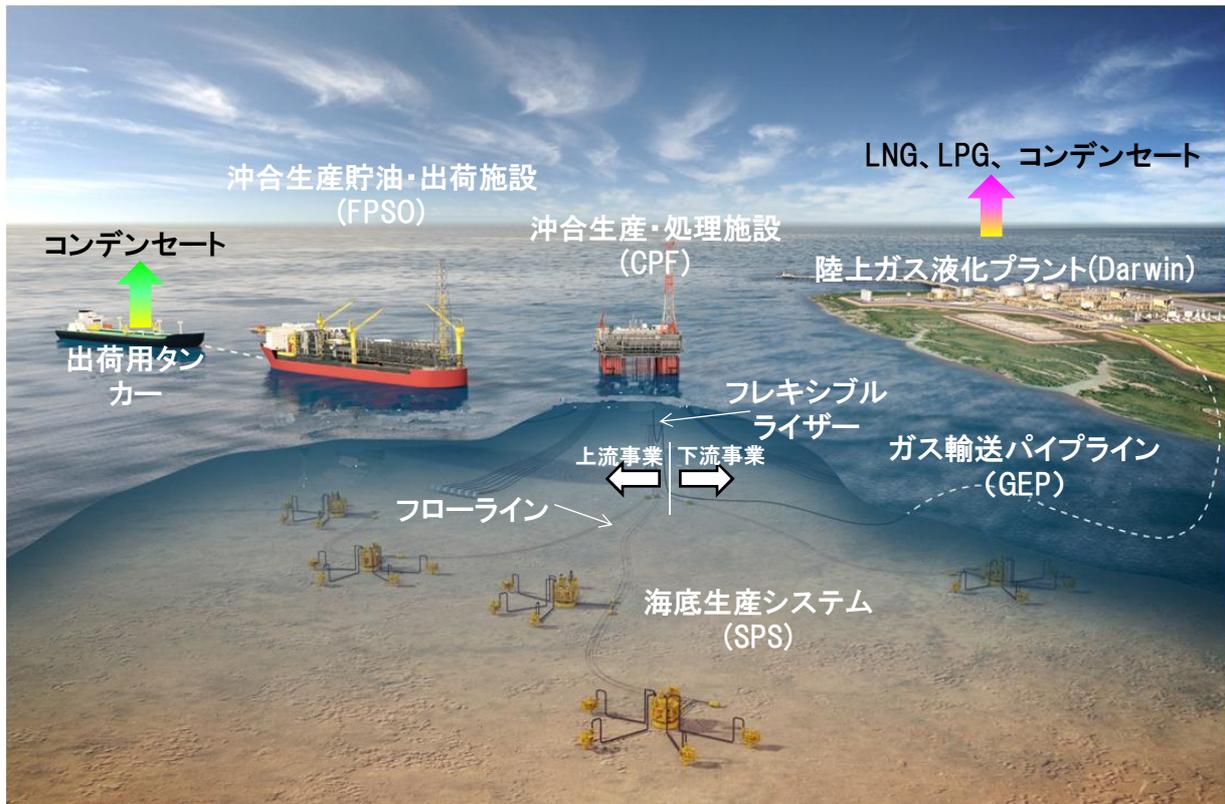
- マーケティング: LNG年間予定生産数量840万吨の全量の売買契約締結済
- 主要許認可: 環境、ガス輸送パイプラインのライセンス、生産ライセンス等全て取得済
- 開発投資額: 340億米ドル(プロジェクト100%)
- ファイナンス: ECA・市中銀行との交渉を継続中(プロジェクトファイナンス)
- 開発作業: 主要EPC契約締結済

- 上流事業
 - 沖合生産・処理施設(CPF) : Samsung Heavy Industries(韓)
 - 沖合生産貯油・出荷施設(FPSO) : Daewoo Shipbuilding & Marine Engineering (韓)
 - 海底生産システム(SPS) : GE Oil & Gas(米)
 - フローライン、フレキシブルライザーなどの接続作業等 : McDermott(米)
- 下流事業
 - 陸上LNGプラント: 日揮、千代田化工、KBR社(米)の企業連合
 - ガス輸送パイプライン(GEP) : Saipem(伊)・三井物産・住友商事・メタルワン
 - ダーウィン湾内浚渫作業: Van Oord(蘭)
 - 計装・制御システム: 横河電機(上流施設も含む)

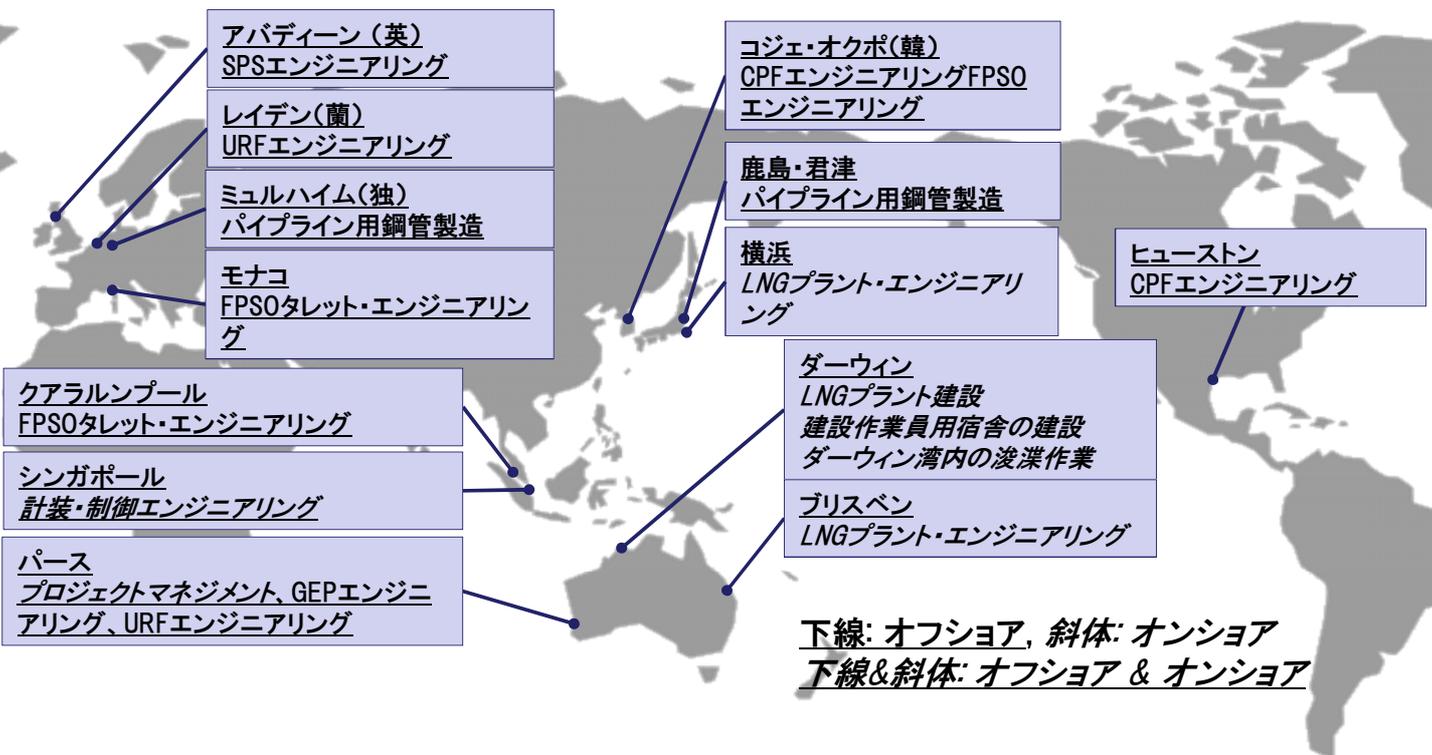
スケジュール:



イクシスLNGプロジェクトの開発コンセプト



現在、作業が進んでいる主なプロジェクト拠点



陸上ガス液化プラントサイト
(2012年10月、ダーウィン)



建設作業員用宿泊サイト
(2012年10月、ダーウィン)

ガス・輸送パイプライン(GEP)用鋼管
(2012年7月、マレーシアにて荷下ろし)

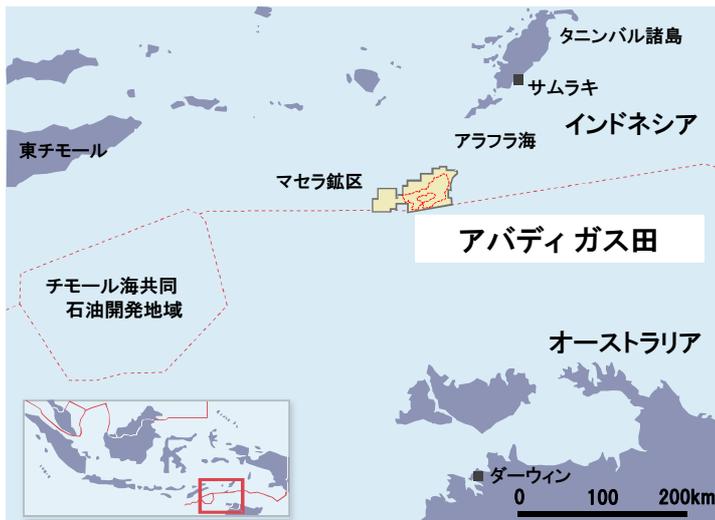


ダーウィン湾内浚渫作業
(2012年10月、ダーウィン)



26

アバディLNGプロジェクト



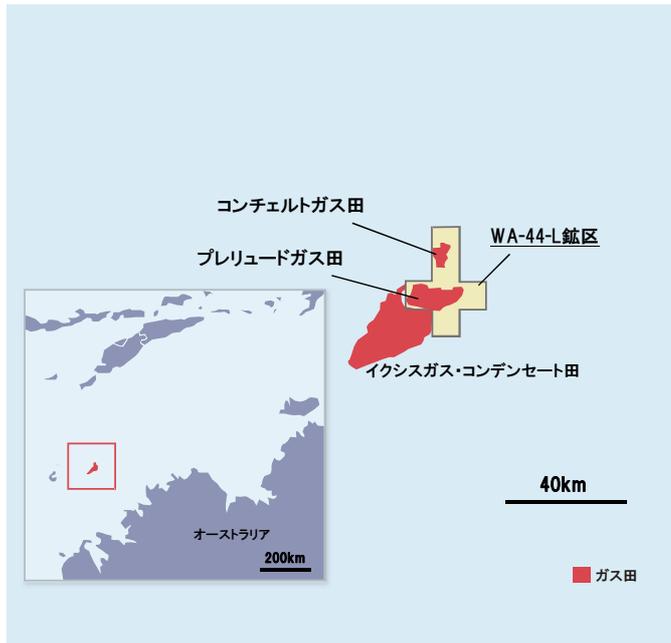
- Shellとの戦略的パートナーリング組成
 - ✓ Shellによる技術的サポートの提供、Seconded受入れ
- 生産分与契約に基づき10%の参加権益をインドネシア政府の指定するインドネシア企業に譲渡する方向
- FEEDコントラクターの選定最終段階。近日中にFEEDを開始。
- 環境社会影響評価(AMDAL)の手続き中
- ガス田埋蔵量に応じた追加開発の検討を継続
 - ✓ 2013年第2四半期から2~3坑の評価井と1坑の試掘井掘削を予定

27

プレリウドFLNGプロジェクト

INPEX Oil & Gas Australia Pty Ltd

INPEX



- 権益比率: 17.5%(オペレーター: Shell)
- 埋蔵量: 天然ガス約3兆cf
(プレリウドガス田およびコンチェルトガス田)
- 生産量:
 - ・LNG 年間360万トン
 - ・LPG 年間約40万トン
 - ・コンデンセート 日量約3.6万バレル(ピーク時)
- 2011年5月に最終投資決定
- 2007年初めのプレリウドガス田発見からおよそ10年での生産開始を目標



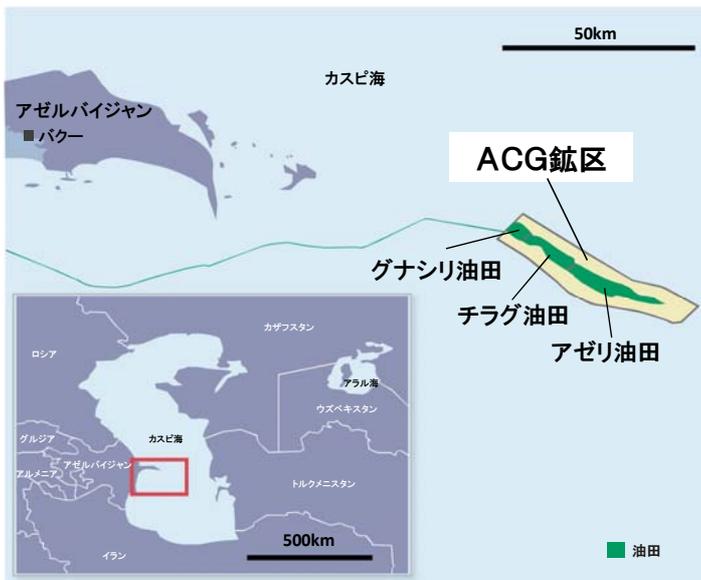
FLNG船イメージ

28

ACG油田

インペックス南西カスピ海石油

INPEX



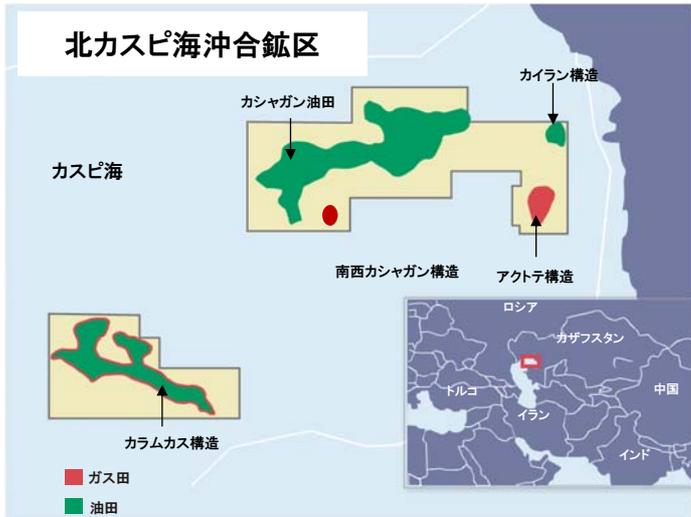
- 当社権益比率: 10.9644%(オペレーター: BP)
- 生産量*: 日量約64.1万バレル
- PS契約: 2024年まで
- チラグ油田1997年生産開始
- フェーズ1: アゼリ油田中央部2005年2月に生産開始
- フェーズ2: アゼリ油田西部2005年12月に生産開始、アゼリ油田東部2006年10月に生産開始
- フェーズ3: グナシリ油田深海部2008年4月に生産開始
- 2010年3月、追加開発(Chirag Oil Project、(COP)の政府承認(2013年末生産開始予定)

* 全鉱区ベース、2012年9月平均日産量

29

カシャガン油田ほか インペックス北カスピ海石油

INPEX



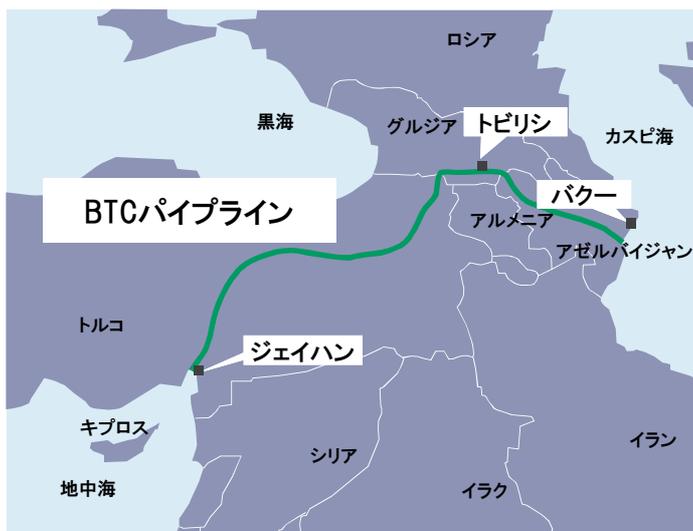
- 当社権益比率: 7.56%(オペレーター: NCOC(North Caspian Operating Company))
- PS契約: カシャガン油田 - 2021年末まで*
- カラムカス/アクトテ/カイラン/南西カシャガンの4構造の評価作業を実施中
- 2009年1月、新操業会社(North Caspian Operating Company)を設立し、同社がオペレーターAgip KCO社の役割を承継
- 2013年6月末までに、生産開始を経て商業生産達成を目標
- 第一段階の開発(Experimental Program):原油生産量は、段階的に日量37万バレル、続いて45万バレルに逐次増加

*20年間の延長オプション有り

30

BTC(BakuTbilisiCeyhan)パイプラインプロジェクト INPEX BTC Pipeline, Ltd.

INPEX

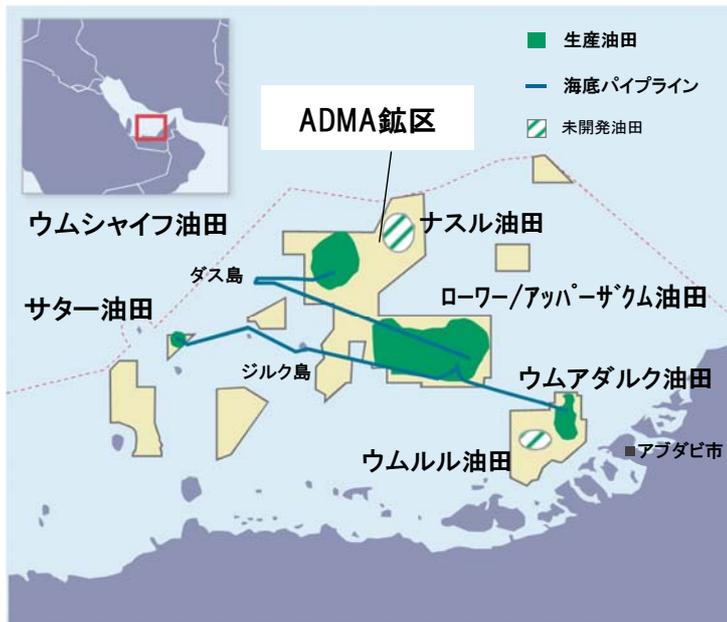


- 当社権益比率:2.5%(オペレーター:BP)
- 2002年10月、当社、参加権益2.5%取得
- 2006年6月、ジェイハンターミナルから原油出荷開始
- 2009年3月、輸送能力日量120万バレルまでの拡張作業を完了
- 2010年9月13日、累計10億バレル出荷を達成

31

ADMA鉦区 ジャパン石油開発(JODCO)

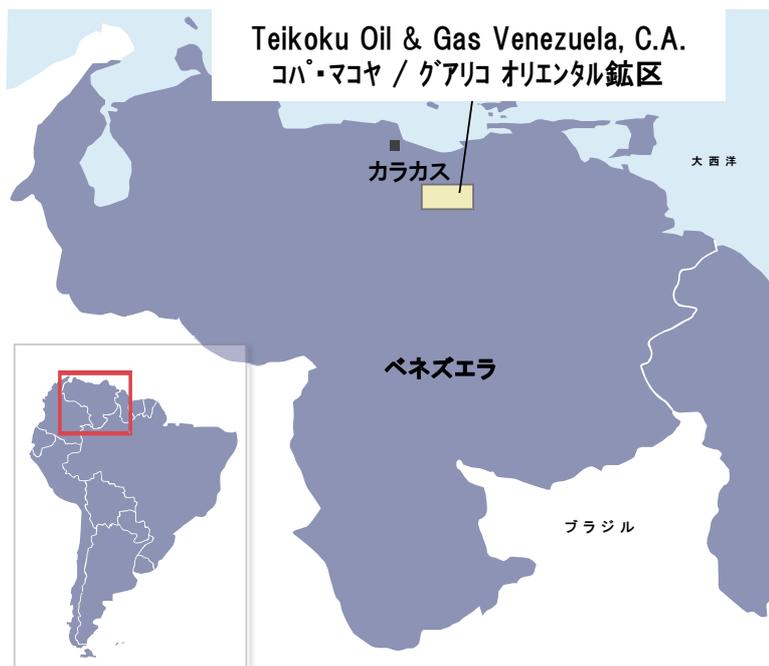
INPEX



- ウムシャイフ/ローワーザクム油田
 - ・当社権益比率: 12.0%(オペレーター: ADMA-OPCO*)
- アッパーザクム/ウムアダルク/サター油田
 - ・当社権益比率:
アッパーザクム/ウムアダルク 12.0%
サター 40.0%(オペレーター: ZADCO*)
 - *アブダビ国営石油会社とJODCOなどで設立した操業会社。
JODCOから両社へそれぞれ12%を出資。
- 利権契約: 2018年まで(但し、アッパーザクム油田は2026年まで)
- 生産量維持・拡大のため開発作業を継続中
 - ・有望未開発油田の開発計画策定作業
 - ・人工島を利用した再開発計画策定作業(アッパーザクム)

ベネズエラ プロジェクト Teikoku Oil & Gas Venezuela, C.A.ほか

INPEX



- コパ・マコヤ (ガス事業)/
グアリコ オリエンタル鉦区(原油事業)
- ジョイントベンチャー出資比率
 - ・ガス事業: 70%、原油事業: 30%
- ジョイントベンチャー契約
 - ・2006-2026年
- 生産量*
 - ・ガス: 日量約63百万立方フィート
 - ・原油: 日量約1千バレル

* 全鉦区ベース、2012年9月平均日産量

ブラジル プロジェクト フラージ鉱区ほか

INPEX



フラージ鉱区(Frade Japão Petrleo Limitada (FJPL))

- 権益比率: FJPL*18.3% (オペレーター: Chevron)
*持分法適用関連会社(当社はFJPLの37.5%の株式を保有)
- 生産量*: 生産停止中
(2012年3月中旬から一時的に生産停止中)
- コンセッション契約: 2025年まで

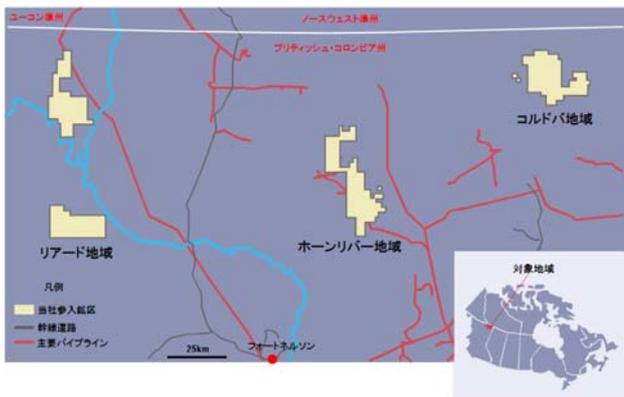
BM-ES-23鉱区

- 当社権益比率: 15%
- 探鉱作業中

34

カナダ シェールガスプロジェクト INPEX Gas British Columbia Ltd.

INPEX



ホーンリバーにおけるフラクチャリング作業現場

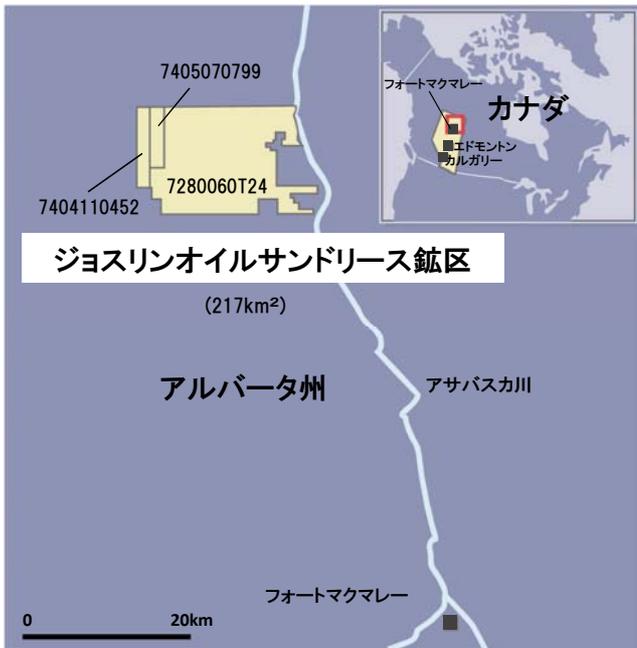
- 権益比率: 40%* (オペレーター: Nexen)
* INPEX Gas British Columbia Ltd. (出資比率: 当社82%、日揮(株)のカナダ法人子会社 18%)の権益比率。
- コンセッション契約
 - ・ ホーンリバー: 366km²
 - ・ コルドバ: 333km²
 - ・ リアード: 517km²
- 生産量*: 61mmcf (10,570BOED)
- 今後、本格的な開発作業を進め、ホーンリバーとコルドバ地域合わせて、日量1,250 MMscf(原油換算で日量約20万バレル)規模の生産を目標

* 全鉱区ベース、2012年9月平均日産量

35

ジョスリン オイルサンドプロジェクト インペックスカナダ石油

INPEX



ジョスリンオイルサンドリース鉱区

(217km²)

アルバータ州

アサバスカ川

フォートマクマレー

ジョスリンオイルサンドリース鉱区 位置図

- 当社権益比率：
・上流開発プロジェクト 10%(オペレーター:TOTAL)

- リース契約(3鉱区の合計約220km²)

・7280060T24：無期限

・7404110452：2004年11月より15年間のprimary lease*

・7405070799：2005年7月より15年間のprimary lease*

*延長可能

- 上流開発プロジェクト：

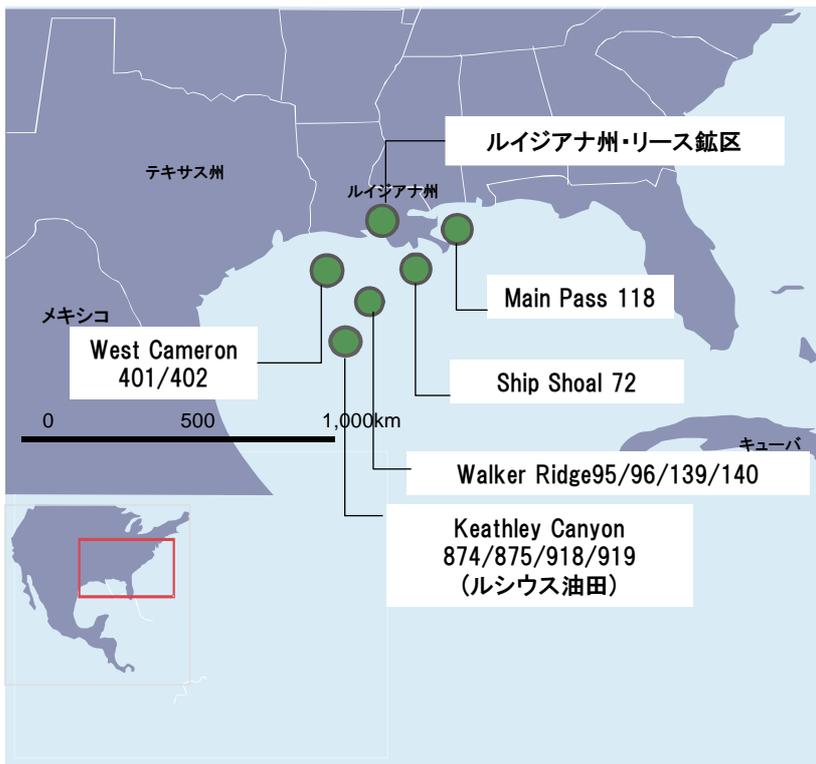
・2010年代後半までに、露天掘り開発により、日量10万バレルの生産を計画(第一段階)、その後、日量20万バレルまで拡大予定(第二段階)

- 改質プロジェクト：

・エドモントンに建設を予定した改質プラントに代わる改質手段を検討中

米国メキシコ湾 プロジェクト

Teikoku Oil (North America) Co., Ltd. / INPEX Gulf of Mexico Co., Ltd. **INPEX**



浅海海域鉱区

(Teikoku Oil (North America) Co., Ltd.)

- 当社権益比率

・ Ship Shoal 72：25%、West Cameron 401/402：25%、Main Pass 118：16.67%

・ ルイジアナ州・リース鉱区 LSL 19372：17.5%、20183：25%

- コンセッション契約

- 生産量*

・ ガス：日量約11百万立方フィート

・ 原油：日量約1千バレル

大水深プロジェクト

(INPEX Gulf of Mexico Co., Ltd.)

- 当社権益比率:ウォーカー・リッジ鉱区15%

- コンセッション契約

ルシウス油田

(Teikoku Oil (North America) Co., Ltd.)

- 当社権益比率:7.2%

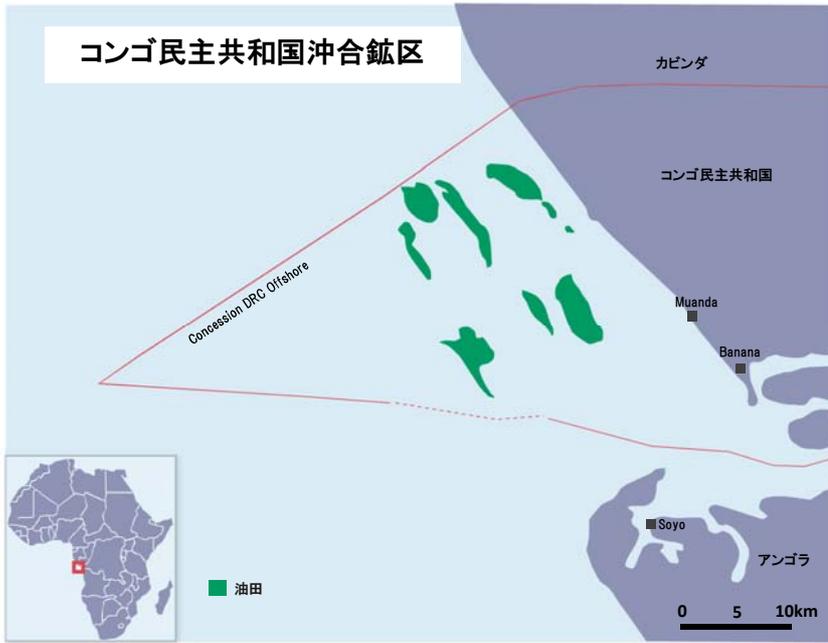
- コンセッション契約

- 2011年12月、開発移行決定、2014年後半に原油及び天然ガス生産開始予定

*Ship Shoal72、West Cameron401/402、Main Pass 118、ルイジアナ州・リース鉱区 LSLの全鉱区ベース、2012年9月平均日産量

コンゴ民主共和国沖合鉱区 帝石コンゴ石油

INPEX



- 当社権益比率:32.28%
(オペレーター:ペレンコ)
- コンセッション契約(1969-2023年)
- 生産開始:1975年
- 生産量*: 日量約1.4万バレル

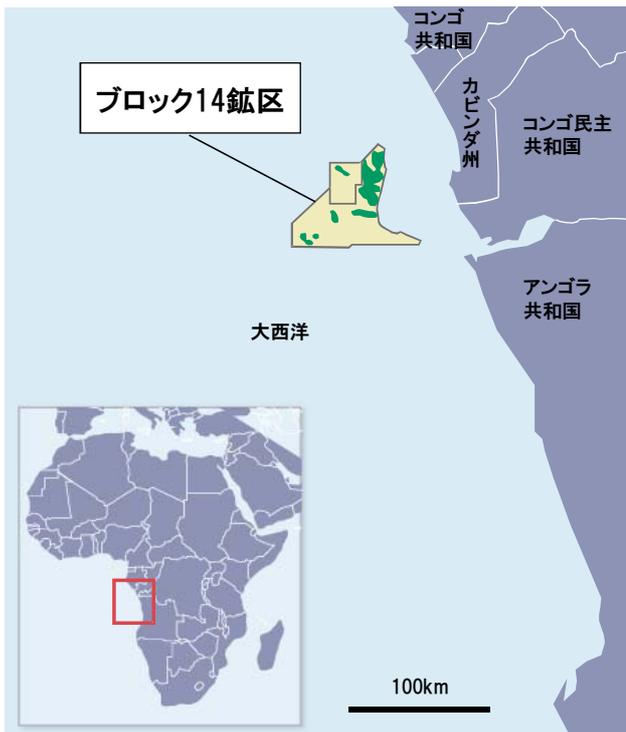
* 全鉱区ベース、2012年9月平均日産量

38

アンゴラ共和国沖合ブロック14鉱区

INPEX Angola Block14 Ltd.

INPEX



- 当社権益比率:9.99%*(オペレーター:
Chevron)
*アンゴラ政府の承認を含む権益譲渡契約上の先行条件の
充足により譲渡契約発効
- 生産量*: 日量約15万バレル
- PS契約: 2035年まで
- 今後、探鉱活動や既発見未開発構造の開発を
進める予定

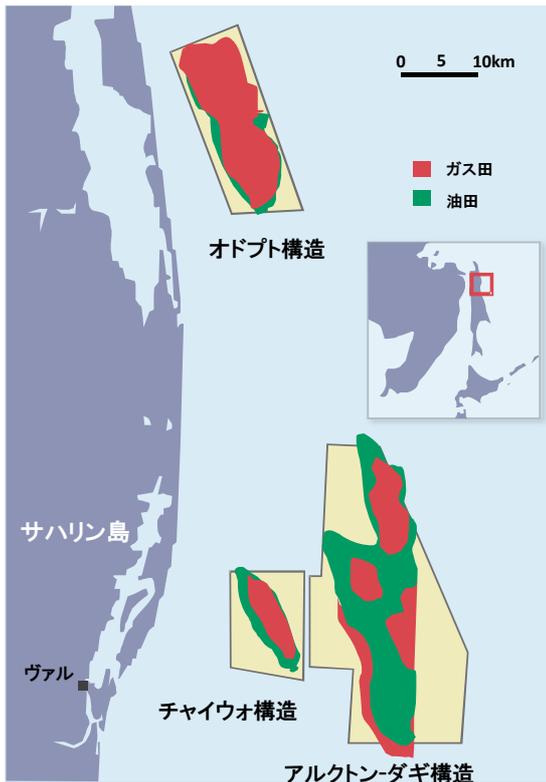
* 全鉱区ベース、2012年9月平均日産量

39

サハリン I

サハリン石油ガス開発

INPEX



- サハリン石油ガス開発(SODECO):当社保有株式約5.74%
- SODECOのサハリン I における権益比率: 30.0%
- 生産量*
 - ・原油・コンデンセート 日量約14.9万バレル
 - ・ガス 日量約899百万立方フィート
- オペレーター: ExxonMobil
- PS契約: 2001年12月、20年間の開発期間に移行
- 2005年10月、チャイウオ構造より生産開始、2006年10月原油輸出開始
- 2010年9月、オドプト構造より生産開始
- 天然ガスをロシア国内に供給中。さらに中国等へ輸出を検討中

* 全鉱区ベース、2012年9月平均日産量

東シナ海

国際石油開発帝石

INPEX

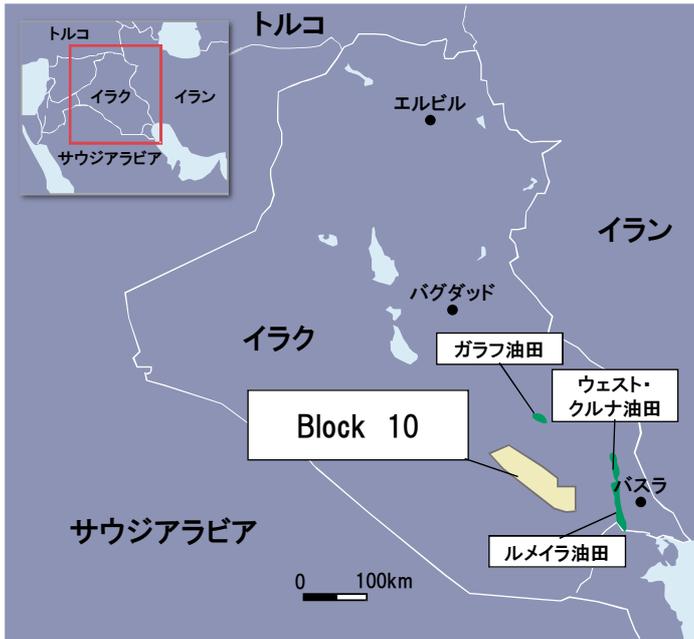


- 1969年: 試掘権を出願、1981・84年: 地震探鉱を実施
- 1992年: 中国側が平湖油・ガス田を発見、1998年生産を開始。1997～1999年: 石油公団が地震探鉱を実施。2004～2005年: 石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC)が地震探鉱を実施
- 2005年4月: 経済産業省が試掘権設定のための処理手続きを開始、これを受け、九州経済産業局に対して、当社出願42,000km²のうち3エリア(約400km²)の試掘権設定の願いを提出。2005年7月: 同3エリアの試掘権が付与され、8月に鉱業権設定が完了
- 2008年6月18日: 東シナ海における日中間の協力について、両政府間で以下を基本合意。
 - ・日中間の東シナ海における共同開発
 - ・白樺(中国名:「春曉」)油ガス田開発
- 当社は、日中政府間協議の行方を見守りながら、作業着手への準備を整えつつ、関係官庁等と協議した上で進めたいと考えている

イラク共和国 ブロック10鉦区

インペックス南イラク石油

INPEX



- 当社権益比率:40%*(オペレーター: Lukoil)
*イラク政府当局との間で本鉦区にかかる石油契約の締結次第、正式に権益保有
- 2012年5月、Lukoil子会社と第4次公開入札に共同で参加、鉦区落札。当社は40%権益を保有予定。
- 今後、地震探鉦データ収録や試掘井掘削等の探鉦作業を実施予定

42

主要会社一覧及び石油契約①*

INPEX

会社名	鉦区名又はプロジェクト名	国名	石油契約	出資比率	ステージ
日本					
・国際石油開発帝石	南長岡ガス田ほか**	日本	コンセッション	-	生産中
アジア/オセアニア					
・国際石油開発帝石	マハカム沖鉦区	インドネシア	PS	-	生産中
・インペックス南マカッサル石油	セブク鉦区(ルビーガス田)	インドネシア	PS	100%	開発中
・ナトゥナ石油	南ナトゥナ海B鉦区	インドネシア	PS	100%	生産中
・MI Berau B.V.	ベラウ鉦区(タンゲーLNG)	インドネシア	PS	44%	生産中
・インペックスマセラアラフラ海石油	マセラ鉦区(アバディ)**	インドネシア	PS	51.9%	開発準備作業中
・サウル石油	バユ・ウンダン	チモール海共同開発地域	PS	100%	生産中
・インペックス西豪州ブラウズ石油	WA-285-P**	オーストラリア	コンセッション	100%	探鉦作業中
・INPEX Ichthys Pty Ltd	WA-50-L(イクシス)**	オーストラリア	コンセッション	100%	開発中
・Ichthys LNG Pty Ltd	イクシスプロジェクト下流事業**	オーストラリア	-	66.07%***	開発中
・INPEX Oil & Gas Australia Pty Ltd	プレリユードFLNGプロジェクト	オーストラリア	コンセッション	100%	開発中
・インペックスチモールシー	キタン油田	チモール海共同開発地域	PS	100%	生産中
・アルファ石油	ヴァンゴツホ油田/コニストンユニット	オーストラリア	コンセッション	100%	生産中/開発中
・アルファ石油	ラベンスワース油田	オーストラリア	コンセッション	100%	生産中

注: * 2012年10月末時点

** オペレータープロジェクト

***当社イクシスLNGプロジェクト保有権益(プロジェクト全体の72.07%)のうち、追加権益(6%)の譲渡契約締結済みのTOTALへの譲渡について譲渡契約発効のための先行条件充足後の当社権益比率

43

主要会社一覧及び石油契約②*



会社名	鉱区名又はプロジェクト名	国名	石油契約	出資比率	ステージ
ユーラシア					
・インペックス南西カスピ海石油	ACG油田	アゼルバイジャン	PS	51%	生産中
・インペックス北カスピ海石油	カシャガン油田	カザフスタン	PS	45%	開発中
中東					
・ジャパン石油開発	ADMA鉱区(アッパーザクム油田等)	アラブ首長国連邦	コンセッション	100%	生産中
アフリカ					
・帝石コンゴ石油	コンゴ民主共和国沖合鉱区	コンゴ民主共和国	コンセッション	100%	生産中
・INPEX Angola Block14	アンゴラ共和国沖合ブロック14鉱区	アンゴラ共和国	PS	100%***	生産中
米州					
・インペックスカナダ石油	ジョスリンオイルサンドリース鉱区	カナダ	コンセッション	100%	開発準備作業中
・INPEX Gas British Columbia	カナダ シェールガスプロジェクト	カナダ	コンセッション	82%	生産中
・テイコク・オイル・アンド・ガス・ベネズエラ	コパ・マコヤ**/グアリコオリエンタル	ベネズエラ	ジョイントベンチャー	100%	生産中
・Teikoku Oil (North America)	ルシウス油田ほか	米国	コンセッション	100%	生産中
・Frade Japã o Petr3leo Limitada	フラージ鉱区	ブラジル	コンセッション	37.5%****	生産停止中

注：* 2012年10月末時点

** オペレータープロジェクト

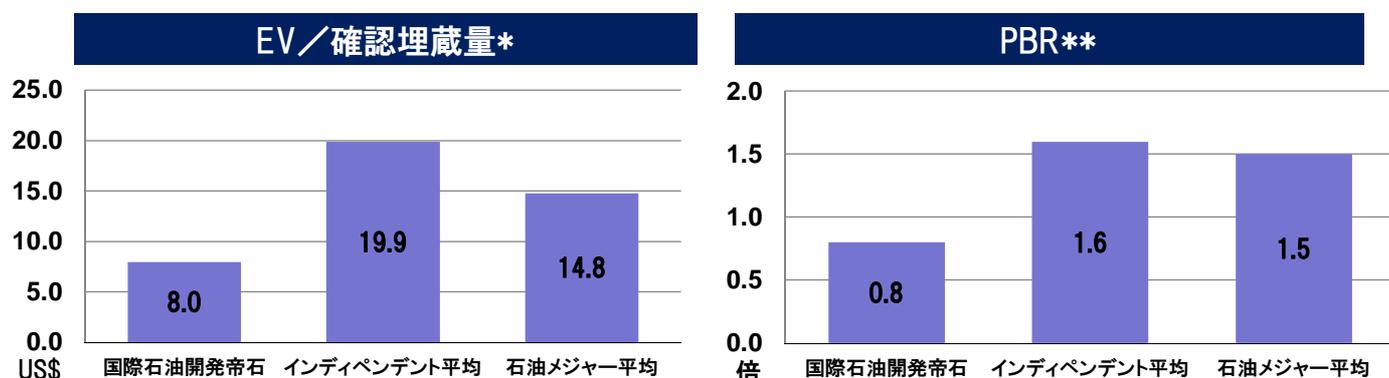
***アンゴラ政府の承認を含む権益譲渡契約上の先行条件の充足により譲渡契約発効

****インペックス北カンボス沖石油(当社の持分法適用関連会社)の子会社。出資比率(37.5%)は同社を通じた当社の実質的な比率。

44



その他



* EV(企業総価値)/確認埋蔵量 = (時価総額 + 総有利子負債 - 預金及び現金同等物 + 少数株主持分) / 確認埋蔵量。時価総額は2012年9月28日時点、財務数値は2012年6月末時点数値を使用。また、確認埋蔵量は、当社は2012年3月末時点、インディペンデント、石油メジャーは2011年12月末時点数値を使用。財務数値、確認埋蔵量は各社開示資料より。

** PBR = 株価 / 一株当たり純資産。時価総額は2012年9月28日時点、財務数値は2012年6月末数値を使用。財務数値は各社開示資料より。

投資計画と資金調達手段

総額約3.5兆円

イクシス、アバディ、その他探鉱開発プロジェクト等に対する
5年間（2013年3月期～2017年3月期）の投資額



* JBIC： 国際協力銀行、**JOGMEC： 独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構

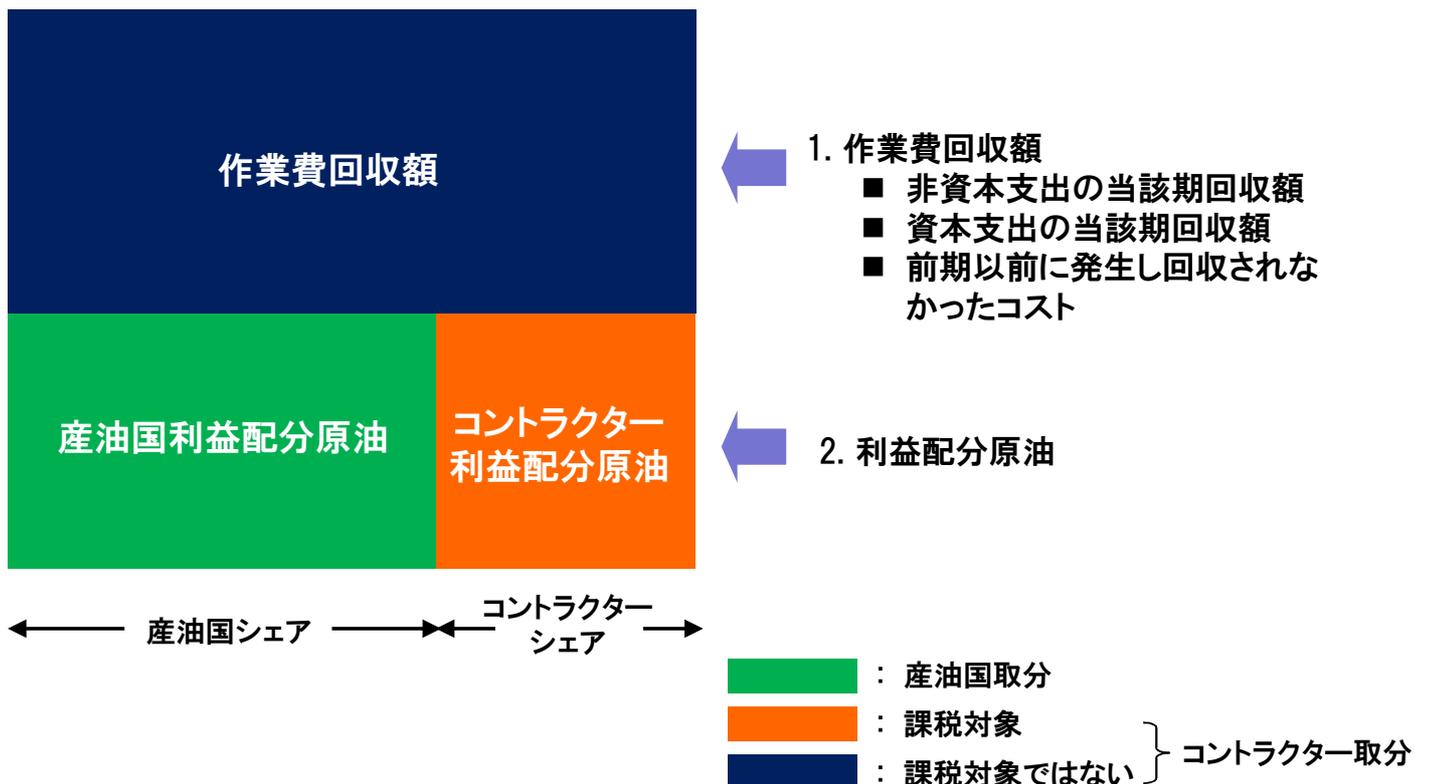
低コストでの有利な資金調達

健全なバランス・シートを維持し、
資金調達の安定性と柔軟性を確保

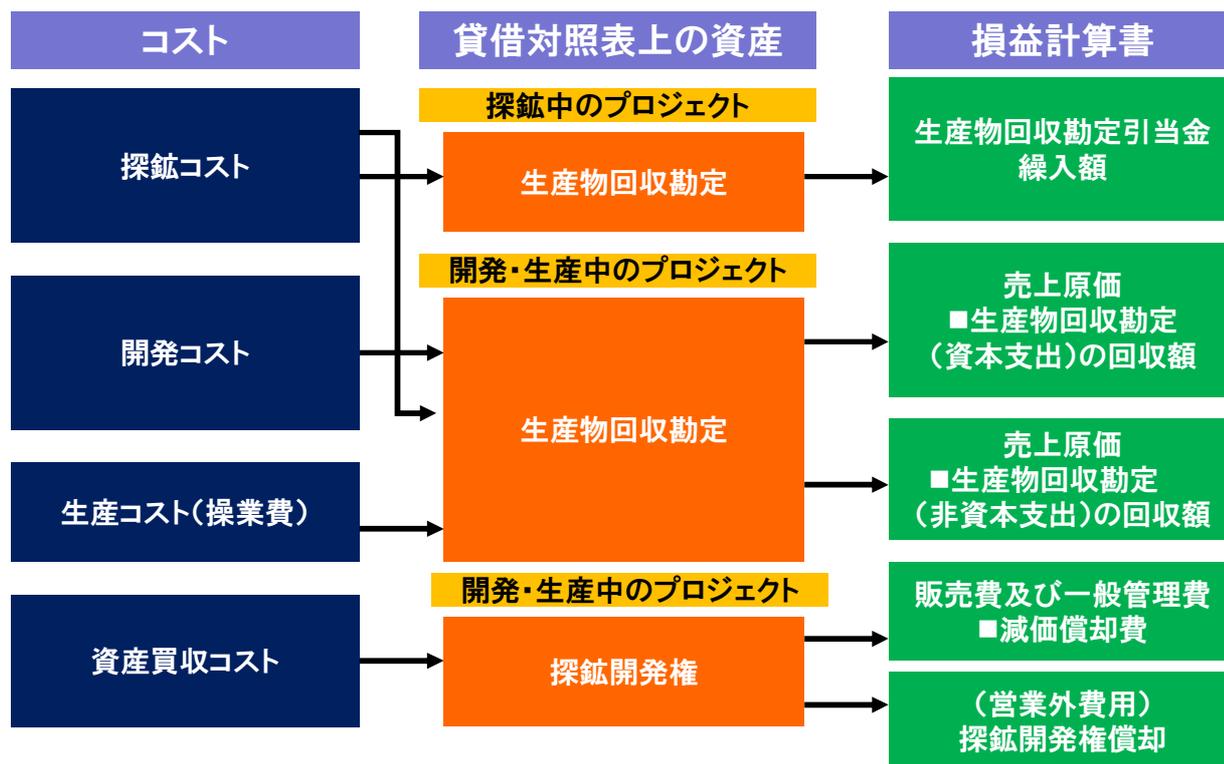
JBIC及びJOGMECの制度金融の
活用により開発資金を調達

- イクシス、アバディ等に必要な投資を確実にするための資金調達力を維持
- 将来の新規プロジェクトへの継続的な投資を実現するために、健全なバランス・シートを維持
- 長期的財務レバレッジ水準(目標値)
 - 自己資本比率:50%以上
 - 使用総資本に対する純有利子負債の比率:20%以下

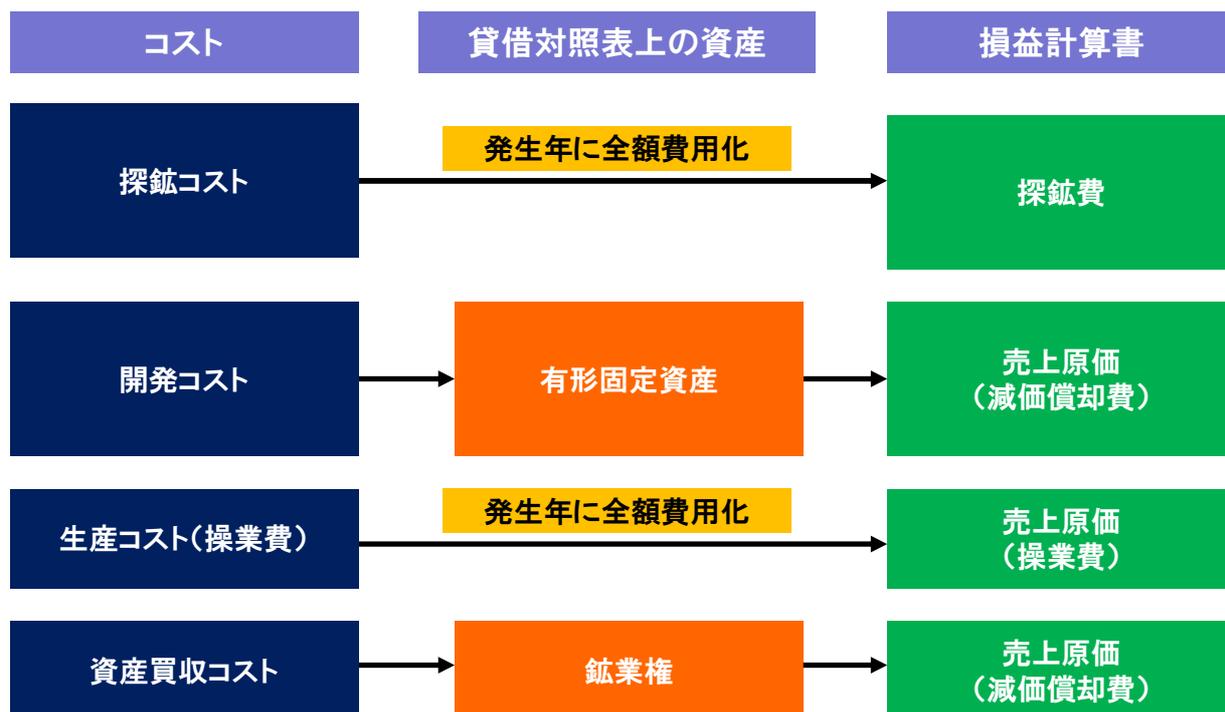
生産分与契約



生産分与契約に係る会計処理

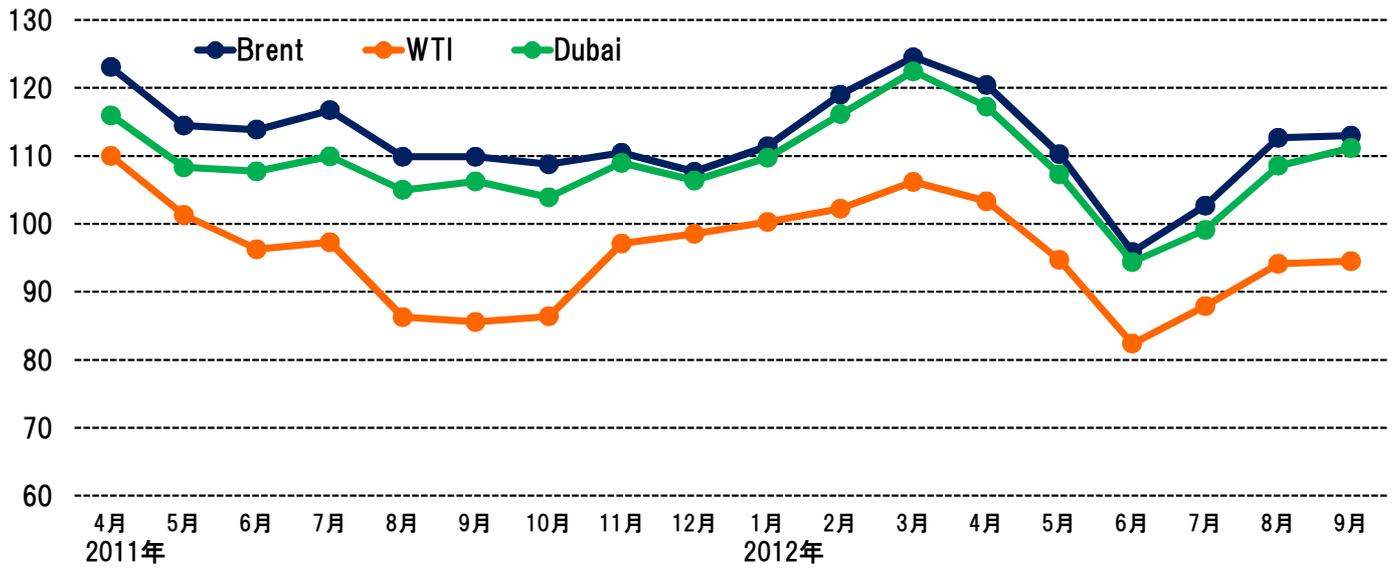


コンセッション契約に係る会計処理



油価の推移

(US\$/bbl)



	2012年3月期 4-9月	2012年3月期 通期	2012年						2013年3月期 4-9月
	平均	平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	平均
Brent	114.68	114.18	120.49	110.29	95.93	102.72	112.68	113.03	109.19
WTI	96.16	97.33	103.35	94.72	82.41	87.93	94.16	94.56	92.85
Dubai	108.91	110.11	117.30	107.31	94.44	99.15	108.59	111.22	106.33